

④演習シート

演習シート 2 (班)	
<input type="text"/> 遠方の巨大地震をイメージ	<input type="text"/> オフィス・ビル内で起きる被害と必要な行動・対応
<input type="text"/> 首都直下地震をイメージ	<input type="text"/> オフィス・ビル内で起きる被害と必要な行動・対応

演習シート 1 (班)	
<input type="text"/> 現状（防災点検結果）	<input type="text"/> 防災上の課題
<input type="text"/> 今後	<input type="text"/> 今後も大切にしたいこと

⑤ 参考資料 第5回セミナー演習シート整理結果

参考資料

第5回セミナーグループディスカッション
「オフィス・ビル内の防災点検マップの作成に向けて」演習シート

【防災点検マップにどのような視点・点検項目が必要?】

(1班)

- ・オーナーと権利者がたくさんいるビルにおける取り組み方、進め方。
- ・テナントの協力を得ること。
- ・テナントの啓蒙。
- ・自社でやつてそれをテナントに公開する。
- ・停電への備え。
- ・負傷者の備え。
- ・MAPを作ることそのものが略要活動。
- ・負傷者の搬送（地下から上げる方法）。
- ・避難経路を明確にする（表示・見学会）。
- ・キャビネットの固定、横連結。
- ・重油の確保ができるか、（非常電源用）。
- ・消火栓、消防器の場所の確認。
- ・備品（トイレ・薬）。
- ・エネルギーで避難経路が見えにくくなっていないか（暗い）。
- ・HP（モバイル版）で消防情報を周知しているか。
- ・全員が滞留できるプロアの広さ（特に共用スペース）があるか。
- ・棚の上に物を置いていないか。

(2班)

- ・天井ボード落下の危険性。
- ・避難経路表示。
- ・マップの内容、情報項目の整理。
- ・転倒の可能性。
- ・レイアウト。
- ・ガラス破片の防止。
- ・消防設備使用方法（場所の明示）。
- ・可動式キャスターのもの。

(3班)

- ・プロアごとの専用アロアごとの対策。
- ・給湯室のケア→火のケア。
- ・ブルーシートの配備。

- | | |
|------|--|
| 参考資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡易トイレ。 ・備品。 ・壁に貼つてあるボスターの裏側に対応策を書いておく。 ・家具などの重量物があるか？ ・オフィス家具の転倒落下防止。 ・書棚の本→常に肩に隠す。 ・避難経路の表示。 ・書棚、コピー機等の固定。 ・天井の落下防止（3/11日では問題なかったが）。 ・スペース。 ・レイアウトで動線の広さ等が確保されているかどうか。 ・非常放送は聞こえるか？ ・レイアウトで避難経路をマップに表示する（矢印で）。 ・非常用でエレベーターの表示。 ・誘導方向や避難経路を現場に表示する必要あり。 ・地区内残留地区。 ・安全に待機できる場所の確保。 ・怪我人の対策。 ・医療機関への協力。 ・応急手当用品の確保。 ・天井一落下。 ・スプリンクラー→水害→止めるバブル。 ・SPの位置障害物があるかないか？ |
| (4班) | <ul style="list-style-type: none"> □地震 ・転倒、落下的可能性。 ・障害物の有無。 ・備蓄品（中味）。 ・水・食料。 ・情報収集・伝達。 ・照明。 ・冷蔵庫。 □火災 ・避難経路。 ・消防設備。 ・電気配線、コンセントの状況。 |

【防災マップを作成するまでの課題は?】

- (1班)
- ・テナントが入っている場所に立ち入れないためマップが作れない。
 - ・館内放送のタイミング。
 - ・負傷対策（テナントの医者範囲、上から降ろすのに時間がかかる）。
 - ・外へ避難するかしないかの判断は誰がするのか（基準は）。
 - ・備蓄品の倉庫をどこに作るか（ビルとしてか、テナントとしてか）。
 - ・テナントの総務部門を巻き込めるか（テナントに組織的に動いてもらう）。
 - ・オープニングベース収容人数（一時滞在者対応）。
 - ・暑さ・寒さ対策盛り込み。
 - ・備蓄食料（館内レストランと協力体制）。

- (2班)
- ・地震発生直後の揺れている間の安全スペースの確保。
 - ・帰宅困難者の留め置きスペースの確保。
 - ・身体が不自由な方の避難動線。
 - ・備蓄品の保管スペース。
 - ・アンカーなどで固定できないもの。
 - ・スタンダードなサイン。
 - ・マップの見直しを誰が何時するか。
 - ・担当者を持ち回り、利用者の当事者意識。

- (3班)
- ・ビル内の動線者が数千人と多勢。
 - ・少人数で多勢を動かす（誘導）。
 - ・外国人を誘導。
 - ・テナントとの連動（人事異動）。
 - ・防災に対する意識がない。
 - ・点検マップ作成後のオペレーションや周知方法（どういいかず事ができるのか）。
 - ・誰が見ても分かりやすく作成する方法（分かりやすさ）。
 - ・備蓄品の定期的な管理をしているか。
 - ・人事で人が変わっても情報を共有出来ること。
 - ・各種の表示を整理し統一する。
 - ・テナントへの周知（防災センターだけでは対応不可）。
 - ・プロアーコートに教育。
 - ・プロアーナンバー個人別に教育。
 - ・訓練（ドリルーエクササイズ）。
 - ・各自の自覚。

- ・各従業員の防災に関する意識の問題（積極性など）

- ・長周期地震動への対策・取り組み。
- ・新宿の特性として誘導員がいるなくても避難などが出来るマップが必要。

(4班)

- ・マップの目的は?
 - ・皆の意見で作る事が大切。
 - ・誰でも分かる表記。
- その他意見
- ・防災点検マップで対象としている機器・設備等点検項目のピクトグラム（アイコン）について、新宿駅周辺地域で共通のユニバーサルデザインを作成してみてはどうか。

以上

⑥アンケート

新規開拓方針対策検討会 第6回セミナー アンケート

今後の参考にいたしますのでアンケートにて協力をお願いいたします。(該当番号に○をつけてください。)

1. 本日のセミナーはいかがでしたか?

良かつた	どちらかというと良かった	どちらともいえない	どちらかどいうと良くなかった	良くなかった
5	4	3	2	1

2. 全体を通じた分かりやすさはいかがでしたか?

分かりやすかった	どちらもさうだった	どちらともいえない	どちらかどくさうだった	分かりにくかった
5	4	3	2	1

3. オフィス・ビル内における地震被災イメージはイメージできましたか?

できた	どちらかというとできなかった	どちらともいえない	どちらかどくさうだった	できなかつた
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

4. 【グループディスカッション】グループディスカッションは有意義でしたか?

有意義だった	どちらかどくさうだった	どちらともいえない	どちらかどくさうだった	有意義でなかった
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

5. 今後皆さんのオフィス・ビルにおいて被害想定を作成しようと思いますか?

思う	どちらかどくさうだった	どちらともいえない	どちらかどくさうだった	思わない
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

■ご記入者(差し支えない範囲でご記入ください。)

二所属 _____ お名前 _____

お勤め先において、災害時に対応すべき役割を担っていますか? ①はい ②いいえ
①を選択された方は、災害時の役割名、および内容についてお聞かせください。
役割名: _____
内 容: _____

～～ ご協力ありがとうございました。 ～～

(裏面へ続く)

⑦ 参考資料 第6回セミナー演習シート整理結果

第6回セミナー グルーブワーク 「オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する」演習シート(2)

会応 原因		会応 破壊
■ 1番 長時間活動 EVの停止	■ 1番 EVの電源に接続 EVの停止	■ 1番 日は非常用の機器にて応急手当を行った。平常からの機器の使用。 - 携帯機器の受け入れ。 - 一時滞留の問題。 - 個別の施設が運送等。 - 休憩食事の問題。 - 社員出張者の方へ、家族、地元事務所、他の施設との災害連絡などの連携が取れない。
■ 2番 公共交通機関の乱れ ビル内へ進むが途障するか予測 電話、携帯が使えない	■ 2番 携帯機器の充電不能 EV放電により備蓄食品の配布に時間がかかる。 - フルのままおもとられ、困っている方へ。 - 公共交通機関の混雑による水の供給と作動。	■ 2番 被害が発生し、煙感器による非常用EVの停電 - ブームの水があふれたり流れ、EV停止。
■ 3番 社員の防災訓練など 社員への情報漏洩の心配	■ 3番 使用していない設備機器 - ブームの水があふれたり流れ、EV停止。	■ 3番 建物の防災訓練、点検 - ブームの水による煙感器の警報。
■ 4番 大人物顔をイメージ 消防用具の搬入	■ 4番 気温降低の届け(雨風、防火服、土上げ) - 防災服がしりぞめ者の方へ - EV停止。	■ 4番 医療施設のある人材 - スクリンクラーの正しい止め方 - EVのじ込め。
■ 5番 ハラスの飛散防止 天井落下下 ガスの漏散	■ 5番 非常口表示、非常灯は修復 - 開けた分しか持たないにて - 落下する。 - 多数の若い職員や学生がいる - 優遇品と譲り合っている - 間違った防災訓練がある - 撃撲機の使用	■ 5番 高温部の特性を利用 - 長時間による疲れ(高齢者) - 建物の老朽化 - 消火器、消防栓
■ 6番 天井落下 ガスの漏散防止 天井ボーダー落水下 ガスの漏散	■ 6番 天井落下 - 漏水の原因 - 壁紙の防災装飾の低さ - 施設の防災装飾の低い位置 - 廉価品の使用方法、壁、床、天井 - 五種類を譲り合って使用 - 安心用品の認定	■ 6番 長時間による疲れ(高齢者) - 捜索活動の疲れ - 黙りによる休憩不足 - 検査医師の済まざる出張との連携
■ 7番 電気の点検 自転車の運転 自転車の修理	■ 7番 その後にしたいたいこと】 ■ 1番 什器の固定 - 災害の危険性。 - 地域活性化。 - 行動改善を見てわかる様に!	■ 7番 空調の停止 - EVの点検と設備の設置 - ハニックの停止
■ 8番 什器の点検 - 安全用品、飲食器具によ - 特定設備の設置 - 施設担当の先頭 - 携帯の充電を記録 - フットマッキース、社員へ - 什器の運搬 - 防災訓練による意識の向上 - 地域活性化(会員登録) - 災害の安全性(持続性)の確 保	■ 8番 什器の運搬 - インフラ、ライフルの停止 - 緊急して行う(廻らぬ、備蓄、備蓄、 - に答える)事務評議会 - 行政のカバー - 行政の立場から災害の発生 - 交換機器の販賣 - 自社監視の安否確認 - 外部情報の取り扱い - 社員、地元との安否確認などの連 絡などでいたい行動や筋道 - 地震住民の通報、広報連絡場所	■ 8番 地域全体で連絡止活動 - EVの点検と設備の設置 - 救援活動 - 事件の負担者、直直着 - 延べ本部の公則 - 会員登録の停止 - 携帯機器などの認定 - 切削消火装置 - 連絡手段 - 安否確認 - 避難説明による明かりの持 保 - 会員登録の販賣 - 会員登録の販賣 - 経営なら学習会へ、直近なら原稿へ連絡 - 大迷惑なら会員登録へ連絡された全額返却

参考資料

【防災上の課題】		【防災上の資源】
■ 1番 食器間、冷蔵庫等の家具の未 定 - 安全装備の状態 - 応急医療が構築済になつ ている - 管理会社のほとんどの本部員 のため安全が不安	■ 3番 EVの停止 - インフラの停止 - スクリンクラーの燃耗 - 増量面などの活動 - 防災備品(トイレ、電球、 水、防寒、 スクリンクラーの防止井 栓器の点検、移動防止 計器の点検、秋葉原	■ 1番 EVの停止 - EVの停止
■ 2番 ハラスの飛散防止 天井落下 ガスの漏散	■ 2番 気温降低の届け(雨風、 防火服、土上げ) - 防災服がしりぞめ者の方へ - EV停止。	■ 2番 気温降低の届け(雨風、 防火服、土上げ) - 防災服がしりぞめ者の方へ - EV停止。
■ 3番 天井落下下 ガスの漏散	■ 3番 非常口表示、非常灯は修復 - 開けた分しか持たないにて - 落下する。 - 多数の若い職員や学生がいる - 優遇品と譲り合っている - 間違った防災訓練がある - 撃撲機の使用	■ 3番 高温部の特性を利用 - 長時間による疲れ(高齢者) - 建物の老朽化 - 消火器、消防栓
■ 4番 天井ボーダー落水下 ガスの漏散	■ 4番 天井落下 - 漏水の原因 - 壁紙の防災装飾の低さ - 施設の防災装飾の低い位置 - 廉価品の使用方法、壁、床、天井 - 五種類を譲り合って使用 - 安心用品の認定	■ 4番 長時間による疲れ(高齢者) - 捜索活動の疲れ - 黙りによる休憩不足 - 検査医師の済まざる出張との連携
■ 5番 電気の点検 自転車の運転 自転車の修理	■ 5番 その後にしたいたいこと】 ■ 1番 什器の固定 - 災害の危険性。 - 地域活性化。 - 行動改善を見てわかる様に!	■ 5番 空調の停止 - EVの点検と設備の設置 - ハニックの停止
■ 6番 什器の点検 - 安全用品、飲食器具によ - 特定設備の設置 - 施設担当の先頭 - 携帯の充電を記録 - フットマッキース、社員へ - 什器の運搬 - 防災訓練による意識の向上 - 地域活性化(会員登録) - 災害の安全性(持続性)の確 保	■ 6番 什器の運搬 - インフラ、ライフルの停止 - 緊急して行う(廻らぬ、備蓄、備蓄、 - に答える)事務評議会 - 行政のカバー - 行政の立場から災害の発生 - 交換機器の販賣 - 自社監視の安否確認 - 外部情報の取り扱い - 社員、地元との安否確認などの連 絡などでいたい行動や筋道 - 地震住民の通報、広報連絡場所	■ 6番 地域全体で連絡止活動 - EVの点検と設備の設置 - 救援活動 - 事件の負担者、直直着 - 延べ本部の公則 - 会員登録の停止 - 携帯機器などの認定 - 切削消火装置 - 連絡手段 - 安否確認 - 避難説明による明かりの持 保 - 会員登録の販賣 - 会員登録の販賣 - 経営なら学習会へ、直近なら原稿へ連絡 - 大迷惑なら会員登録へ連絡された全額返却